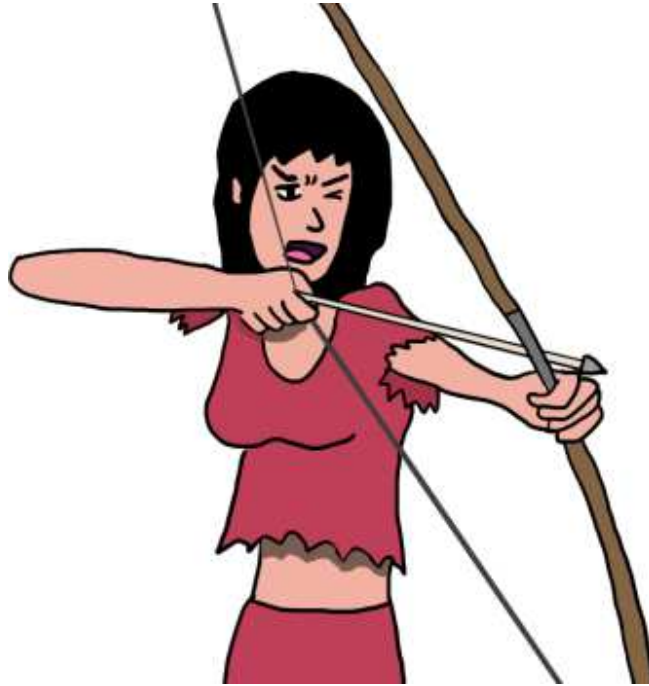
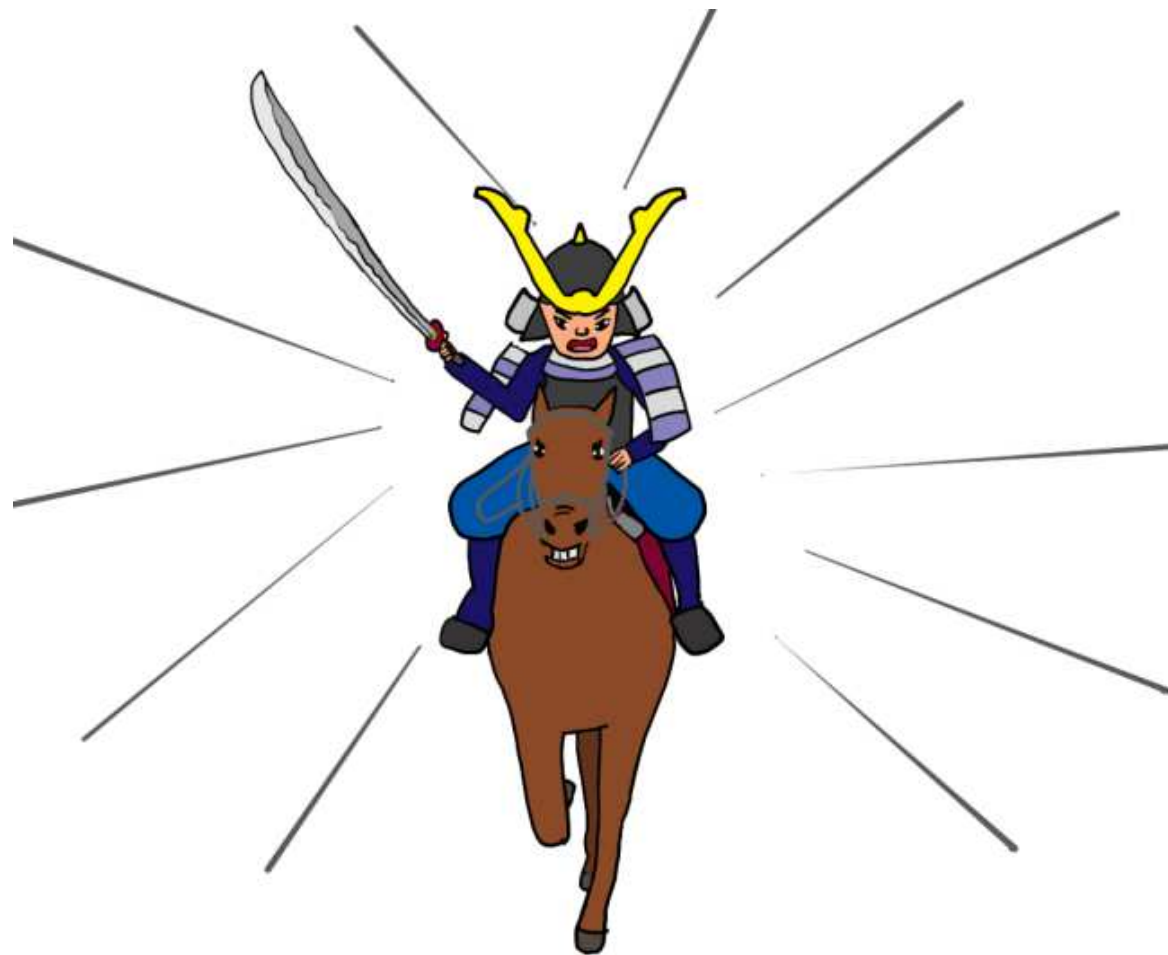


罰は敵を生む



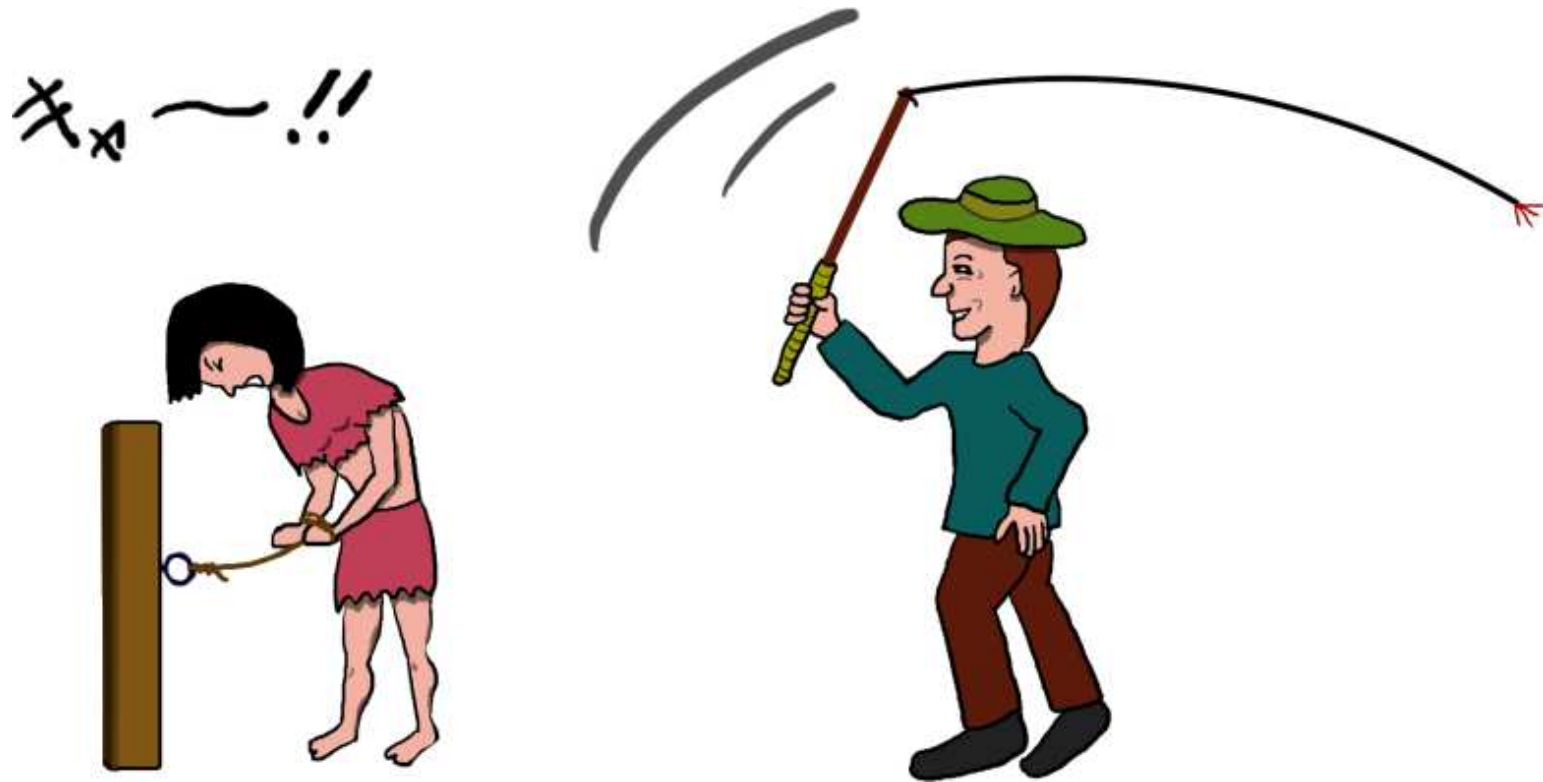
東郷 潤

敵って、なんでしょう？



普通に考えると、敵って「自分を攻撃してくるもの」ですよね。

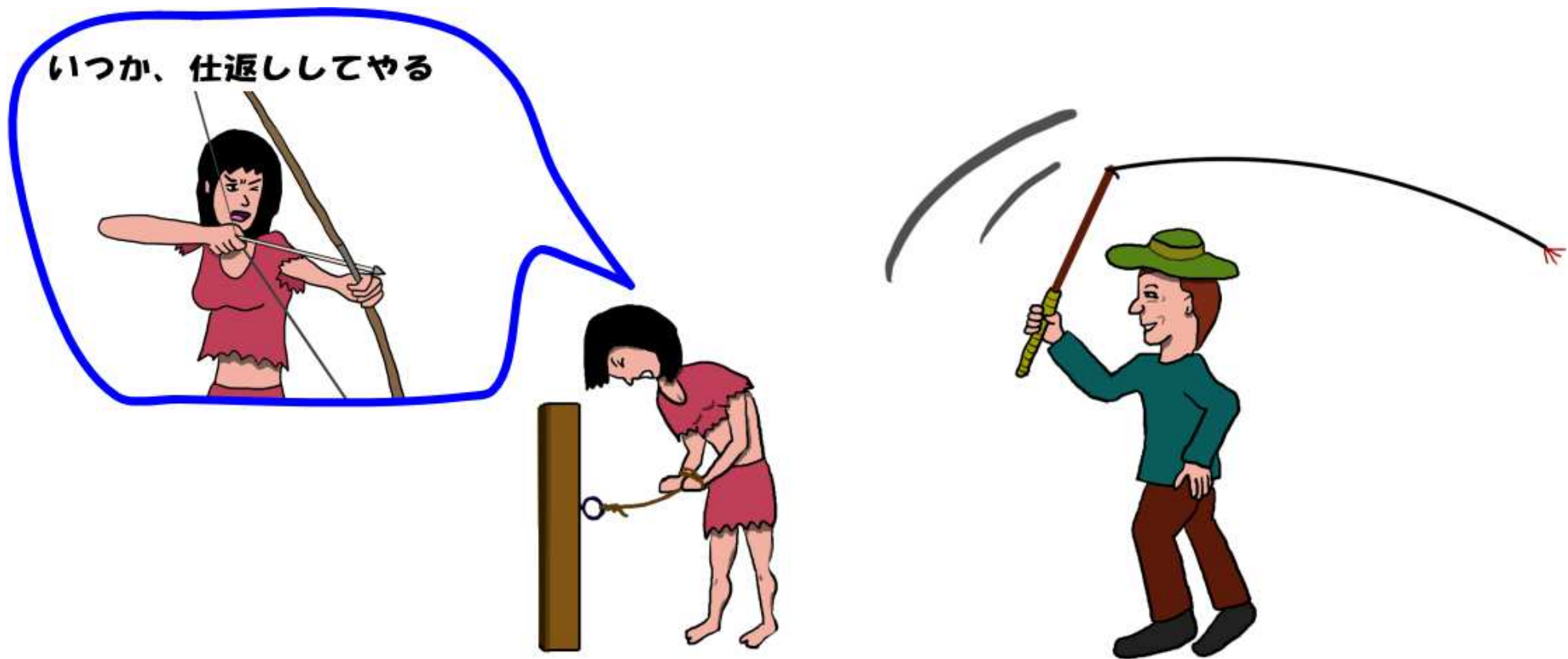
さて、罰は攻撃に他なりません。¹



ならば罰を受ける人は、罰を与える相手を敵だと思ってしまうでしょう。

¹ 参照絵本「改めて、罰って何？」 <http://www.j15.org/Punishment/Penalty/>

相手を敵だと思った人（罰を受けた人）は、その相手（罰を与えた人）の敵となりますね。

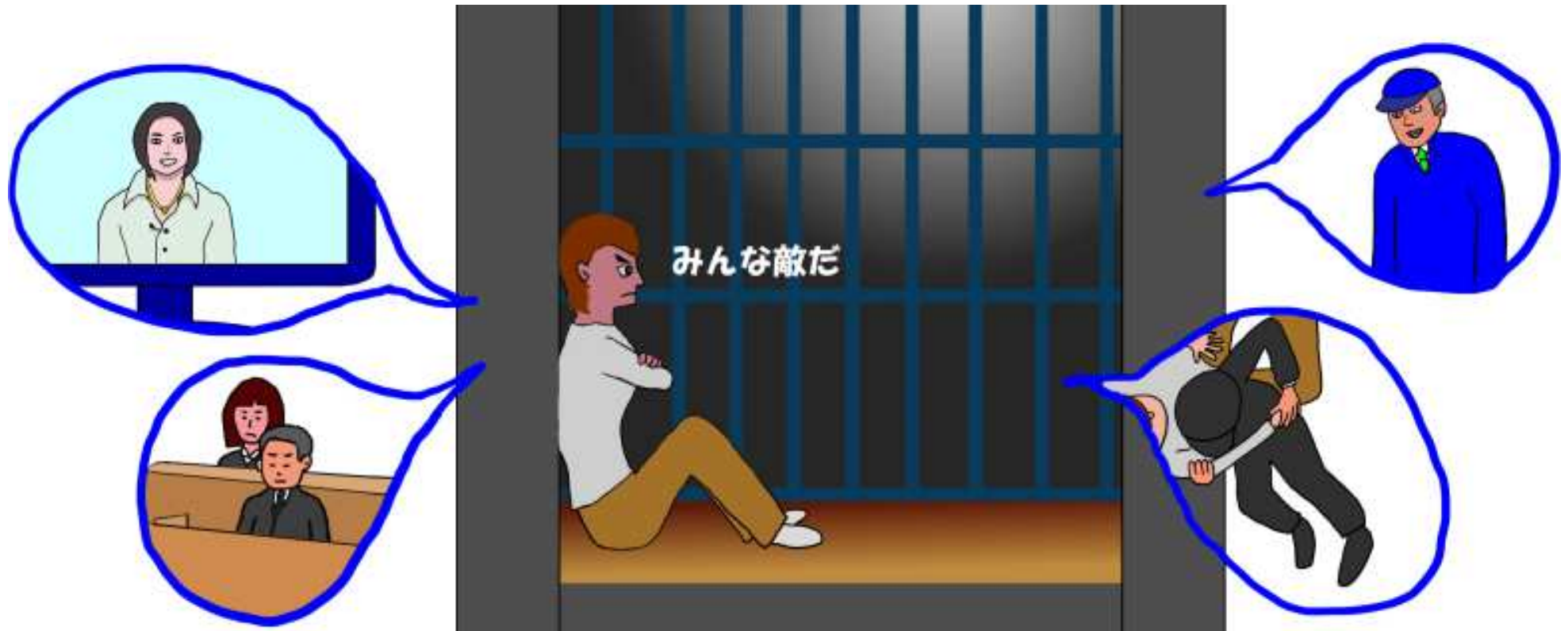


もちろん罰を受けた人が、特別に広い心・深い理解力を持ち、「罰を受けたのは、自分のせい」と納得してくれれば話は別です。でも、そうでなければ；

罰は、敵を生みます。



さて刑事罰も罰である以上、攻撃ですね。色々な見方はあるでしょうが一般に、それは社会が個人に対して行なうものといえるでしょう。



ならば罰を受ける人は、罰を与える社会を敵だと思うでしょう。

社会を敵だと思った人は、社会の敵となりますね。



もちろん罰を受けた人が、特別に広い心・深い理解力を持ち、「罰を受けたのは、自分のせい」と納得してくれれば話は別です。でももし、そうじゃない人が多ければ；

刑事罰は、社会の敵を生み増やします。



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017